

出前講座 「豪雨による洪水・土砂災害とその対応について」

- 開催日時：平成26年10月3日（金）13時30分から15時30分
- 開催場所：プラザおでって 3F おでってホール
- 参加者：自主防災組織のリーダー等 約200名
- 講師：岩手河川国道事務所 調査第一課長 山影修司

国土交通省岩手河川国道事務所では、随時出前講座を開催しております。

平成26年10月3日（金）、盛岡市内の自主防災組織リーダー等約200名が出前講座に参加され、盛岡市にある「プラザおでって」において開催しました。

この出前講座は、盛岡市消防対策室が主催で毎年行っている「自主防災組織リーダー研修」の一環として開催され、当事務所調査第一課の山影課長が「豪雨による洪水・土砂災害とその対応について」と題して講演しました。

まず最初に河川の洪水について、昨年8月と9月に起こった盛岡市内の大洪水の概要や、河川の水位と洪水予測等を説明し、併せて岩手河川国道事務所が情報発信している河川の防災情報について紹介しました。

次に土砂災害について、今年7月に発生した長野県南木曾町の土砂災害や、8月豪雨で土石流の被害を受けた広島市の土砂災害、土砂災害警戒情報の仕組み等を説明し、併せて現在岩手河川国道事務所が行っている岩手山の対策についても、砂防事業の説明を交えて紹介しました。

参加者は、近年多発する土砂災害や長野県御嶽山での噴火報道もあって、とても関心が高い様子で、熱心に聴講していました。

今日の出前講座を通して、地域における自主防災活動の活発化と地域の防災力向上の一助となれば幸いです。



盛岡市 細田危機管理統括監の挨拶



熱心に聞く自主防災組織リーダーの皆様



調査第一課山影課長による講演